

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
1	1	日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)については、施設整備を含めた幼児教育・保育に関する諸施策は、「第2期日野町子ども・子育て支援事業計画」を見直し、令和7年度を開始年度とする第3次の計画で具体化するのが体系的に正しい対応ではないか。	2	第2期日野町子ども子育て支援事業計画では、主に令和2年度から令和6年度までの期間内の教育・保育の量の見込みと確保方策が数量的に示されていますが、町の幼児教育保育施設の整備方針まで記載しているものではありません。そのために、今回「日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)」を策定し、今後の幼児教育保育施設の整備方針をお示しさせていただいたものです。
2	1	子ども子育て支援法により制定された「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、町条例で設置した「日野町子ども・子育て支援会議」に依拠した「第3期日野町子ども子育て支援事業計画」が公表されていない中で、本計画のパブリックコメントを実施することは順序が逆ではないか。	1	子ども子育て支援法により、各市町村が制定する「第3期日野町子ども子育て支援事業計画」と「日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)」とは互いに整合・連携するものですが、計画自体は異なるものであることから、平行して作成しようとするものです。
3	1	保育の観点が先行し、幼児教育の基本となる日野町教育振興基本計画との整合性はどうなっているのか。	1	日野町教育基本計画との整合性も図ることとしていますので、本計画内にその旨を記載することとします。 なお、現在、令和7年度以降の日野町教育基本計画も作成中であることから、ともに整合性を図っていきます。
4	1	「認定こども園も考慮した幼保一元化施設の検討を含む施設の適正配置(統廃合)ならびに民間事業所等に運営を任せる民営化・・・今後の町立幼稚園・保育所等の整備方針を示す」とあるが、曖昧で文章が成り立っていない。	1	「幼保一元化施設として、認定こども園の新設、町全体の幼児教育保育施設の適正配置(統廃合)、民間事業者等に運営を任せる民営化、園舎をはじめとした施設環境の改善等、今後の町立幼稚園・保育所等の整備方針を示すものです。」に記載を改めます。
5	1	本年2月に「在り方懇話会(在り方懇)」の最終報告(提言)が出され、5月に小規模保育施設の募集が発表された。そして、今回のパブコメ募集。何かその場しのぎの感がする。	1	ここ数年間、当町では待機児童が発生し、特に0～2歳児における低年齢児の待機児童への対策が急務となっており、町の重要な課題としてできるだけ早期に対策や方向性を検討していかねばならないと考えております。 パブリックコメントにつきましても住民意見募集の場として位置付けておりますので、ご理解をお願いいたします。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
6	1	幼稚園の廃園、統合等、子どもの減少から見てやむを得ない面もあるが、広く町民の意見を聞いた合意とは思えない。これでは後で異論が出て、収拾がつかなくなる恐れがある。	1	令和4年7月から約2年間にかけて実施した、「日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会」の取組の中において様々な立場の方から広くご意見をいただき、町へ最終提言をいただいたものを重要視して本計画をまとめていますので、ご理解をお願いします。
7	1	幼稚園の保護者の方に、このパブリックコメントのお願い文を手渡していると聞いたが、この資料を見て保護者・町民の方がどれだけ意見をだせるであろうか。あまりに不親切で、「パブコメ」をやったというアリバイづくりとしてやっていると思われると思われる。	1	パブリックコメントは、組織や団体からの意見だけでなく、ひとりひとりが直接意見を出せるという利点があります。この点、保護者や町民の方においても、様々な立場から様々なご意見をできるだけお伺いする観点から実施させていただきました。
8	1	町が考えるより良い保育、教育環境とは何か、また、子育て世帯が考えるより良い保育、教育とは何か。それぞれは一致しているのでしょうか。	1	日野町第6次日野町総合計画では「子育てを地域全体で支える気風があり、対話で築く地域保育サービスのなかで、どの子ども安心して健やかに育つことができるまち」をめざす姿としています。幼児教育・保育の充実についても基本施策に掲げられていることから町全体で取り組みを図り、子育て世帯の方とも一緒になって進めていきたいと考えています。
9	7	発達段階に応じた支援の必要な児童の増加に保育士加配が対応となっている中、そのような親にも安心して子どもを預けられる環境が必要だと思います。町にはそれぞれの発達段階に応じた対応ができる保育士や施設が整っていないように思えますがいかがでしょうか。	1	支援が必要な園児については、各園の保育士・幼稚園教諭等が対象となる全ての子ども様を確認し、発達検査や療育等での状況を参考にしつつ、子どもの支援の必要性に応じて適切に加配保育士等を配置しております。しかし、保育士不足の中、既存施設の状況により対応の条件も限られています。その中で町も努力してまいりますので、ご理解をお願いします。
10	8	今の段階で、保育士はどのくらい確保できそうなのか。 今後、保育士の確保はどのようにしていくのか。 例えば、資格がない者が補助員、支援員として入る。 町民から有償ボランティアを派遣。 保育士不足を解消できる策はあるか。 潜在保育士の人数把握はしているか。	1	現段階においては、次年度の保育が可能となるよう、保育士の確保に最大限の努力をしているところです。また、保育資格を有せず、補助者として勤務する職員は、すでに多数配置しております。 有償ボランティアにつきましては、担い手確保や保育に対する責任範囲の課題があります。また、潜在保育士の人数把握は、当町ではデータがなく把握することは困難です。いずれにしても保育士確保については、あらゆる方法により努力を続けてまいります。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
11	9	待機児童の全てが0～2歳なんですか。	1	令和6年4月1日時点では、0歳～2歳児が7名、3～5歳児が1名の計8名となっています。
12	11	本町の女性の就労状況が高いことが保育ニーズの変化を表しているが、本町の保育ニーズとは何か。求められるニーズとは何か。この計画はニーズに添える保育施設となるのか。	1	保護者の声からは、保育園が少なくてなかなか入れない、保育園に入りやすい環境にしてほしい。小さい町にも関わらず、待機児童が出ていることは大きな問題であると感じるなど、保育園の入所に関する声が多数寄せられています。この計画は、そのような保護者のニーズに応えられることを基本として策定しています。
13	12	アンケート調査結果については、400人の無作為抽出で行われていますが、なぜそのような実施方法なのでしょう。回収率も50%ほどで、基礎資料としてよいのでしょうか。なぜ全子育て世帯に実施されないのか。	1	アンケートについては、常に全数調査を実施している訳ではなく、費用対効果や作業量を考慮し、一定の有意性が担保できれば通常は対象者を抽出した標本調査を採用しています。今回のアンケートにおいても一定の有意性があると考えておりますので、アンケートそのものが基礎資料として否定されるものではないと考えています。抽出数につきましては、今後の参考といたします。
14	12	児童虐待の中でもネグレクトが多い理由は何でしょう。なぜそのようなになるのか、解決方法はあるのか。いつ頃からこのような状況なのか。児童虐待に対してどのような取り組みをされているのか。本町に子ども家庭相談センターができたが、いまい状況がわからないのですが、効果などはあるのでしょうか。どのような役割をされているのでしょうか。	1	日野町では、全国や県と比べるとネグレクトの割合が高くなっています。ネグレクトは微妙な様子の変化からとらえる場合も多く、当町では地域や園、学校との連携がとりやすいことから子どもや家庭状況の変化のキャッチが早く、結果として幅広く要対協ケースとして対応することとなっています。児童虐待の解決方法としては、関係機関との連携、粘り強い家庭への支援、妊娠期の早期から介入し予防に努めることだと考えます。 子ども家庭相談センターは県が設置しており、非行や虐待相談、18歳未満の子どもに関する児童相談、家庭内や夫婦間の問題、配偶者からの暴力被害などの女性相談、療育手帳にかかる心理検査等を行っています。日野子ども家庭相談センターでは、これまで彦根子ども家庭相談センターの管轄であった東近江圏域の2市2町と中央子ども家庭相談センターの管轄であった甲賀市、湖南市を担当し、子ども家庭相談センターの対象エリアが細分化されたことで市町との連携がとりやすくなったこと、住民が相談に行く場合の利便性が向上したことなどの効果が考えられます。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
15	15	アンケート結果によると、利用検討の際重視することとして、82,3パーセントの方が自宅に近いことと答えておられます。幼稚園まで自転車で送迎されている方や兄弟で違う施設へ送迎されている方もいます。今回の再編により遠方になれば、さらにたいへんになると思われます。何らかの配慮をお願いします。また、そのような個々の事情をくみながらお母さんに寄り添った支援をお願いします。	1	現状、町の保護者の移動手段のほとんどが自家用車であり、天候や安全性、利便性からも園児の送迎手段もほとんどが自家用車となっていますので、計画の前提としては自家用車による移動を想定しています。ご意見のとおり、送迎も含めてさまざまな事情を抱えた保護者もいらっしゃると思いますので、その際には担当までご相談いただければと考えています。
16	16	グラフを見ると、幼稚園や保育所等の利用を検討する際に、自宅から近いこと、勤務先から近いことを挙げられています。中学校は町内に1箇所自力で登校できることが前提ですが、保護者が送迎できる範囲が自家用車ありきで想定されるのはいかがなものかと思えます。そのような場合の対応が示されないままでは、集団保育に入れない保護者や子どもたちができると考えます。この対応も計画に記載してください。	1	町での交通手段は、ほぼ自家用車であり、保護者も勤務先へはほとんどが自家用車で通勤されています。このことから、園児の送迎を自家用車で想定することは、町の現状に即した想定であると考えています。また、現実的に全ての園児の送迎手段を町で保証し、計画に記載することまでは困難であると考えています。通園については、個々のご家庭に事情に応じてご相談いただければと考えております。
17	18	昨年まで、幼小連携に取り組んでくださり、スムーズに小学校生活に入れました。という声も聞いています。引き続き連携をお願いします。	1	幼小連携については、各園児にとって非常に大切なことであり、町として引き続き取り組んで参ります。
18	18	ニーズと現状を踏まえて施設整備を検討されることは賛成です。しかし、近隣市町では国の動きに合わせて、保育士不足、待機児童数ももっと早くから検討されていたにも関わらず、日野町は対応が遅いと考えています。人口が減る対応だけでなく、子育て世代を呼び込むことも検討したうえで、施設整備が必要だと考えます。日野町は人口増加については、諦めているのですか。	1	幼児教育保育については、町として早急に対策をとるべき課題であると考えています。このことにより、現在対策を進めてるところです。また、人口増加につきましても全庁的な取り組みを行い、個々の対策を実施しているところです。
19	19	老朽化している全ての施設を取り壊したあとの計画はあるのか。	1	取り壊したあとは、幼児教育保育施設の役割を終えることとなりますので、本計画(案)にはその後の記載はありません。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
20	20	日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会について、要綱で設置されたものと理解するが、懇話会の意見が本計画の根拠となっており、法の制度設計上、町がしている懇話会の位置づけが理解できない。なお、懇話会で議論されたことに関してを述べているのではないので誤解のないように願いたい。	1	日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会については、いわゆる審議会や諮問機関の位置づけはしておりません。 しかしながら、懇話会では各地域を廻り、2年間に渡って様々な議論を重ね、保護者、在宅子育て層、公民館、保育者、発達に支援の必要なお子さんをお持ちの保護者、若者向け、子育て層、図書館、役場若手職員を対象としたワークショップ（もちろん、ワークショップには一般住民の参加募集も行っています。）、4回の先進地視察、住民への報告と対話をめざしたシンポジウムの開催など、丁寧かつ十分な期間と議論をもって提言いただきましたものです。 日野町幼児教育保育施設再編整備計画（案）は町で策定したものです。懇話会での意見については、実際に子育てに関わる層を含め様々な地域や年代層の重要なお意見として認識しているところです。
21	20, 21	幼稚園の先生は、お母さん方の保育の専門家として、気軽に相談できる存在であり、ともに子どもを見守ってくださり安心しておられました。 今後、大きな園になっても相談体制の充実と、孤立した子育てとならないような配慮をお願いします。	1	幼稚園教諭、保育士等は、良き専門家となるよう日々努力をしています。その中で、相談体制の充実については、子どもたちや保護者のためにも大切なことだと考えていますので、引き続き取り組んでいきたいと考えています。
22	21	保育士の資格を有する人は沢山いると思うが、給料が安いから人材不足となっているのではないか。	1	保育士不足の理由としては、全国的な傾向として給与水準が他の職種と比べて低い傾向があったり、それ以外にも様々な要因がございます。こうした課題について、国では保育報酬の改善を図っており、町でも、正規職員には人事院勧告に基づく給与等の改善や、会計年度任用職員へは町単独での待遇改善を実施しました。今後、公立施設の集約化等により、さらに保育士が働きやすい職場環境づくりを目指し、待遇改善を図りたいと考えております。
23	22, 23	南比都佐地区では、若いお母さん方が主体となって仲良し会という子育てサロンが開催されています。地域のボランティアさんとともに、子どもの成長を喜び合う場が生まれています。移住された方も顔見知りとなり、仲間として楽しく活動されています。少しでもよりよい子育て環境と先輩方のご尽力により、地域として子ども守ってきた経緯があります。さらに公民館が幼稚園と連携して子どもやお母さんのえがおを支えていこうとしています。地域の子どもたちを地域で育てていきたいという思いを大切にしていきたいと思っております。	1	地域の中で保護者や子どもたちを応援したり、公民館と幼稚園が連携しながら子育てを応援していただいていることは大切なことだと考えています。地域の中で子どもを育てることができるよう、各園の園運営の中でも、できるだけ地域とのつながりを重視した活動ができるよう努めていきたいと考えています。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
24	23	「「日野町幼児教育保育の在り方懇話会」の提言（最終報告）を基本とした幼児教育施設の再編整備に取り組む」とあるが、条例設置の日野町子ども・子育て会議による法定の日野町子ども子育て支援事業計画（第3期）に対する認識が欠如している。懇話会は意見を聞く機会の一つではないか。	1	第2期日野町子ども子育て支援事業計画においても、仕事と子育ての両立のための基盤整備として、保育ニーズの多様化への対応が示されております。このことから、第2期の計画期間中に「日野町幼児教育保育の在り方懇話会」を開催し、この意見を受けて日野町幼児教育保育施設再編整備計画を策定するものです。 なお、第3期日野町子ども子育て支援事業計画においても、日野町幼児教育保育施設再編整備計画との整合性を図りつつ策定する予定です。
25	23	再編整備に向けた基本的な考え方の中、0歳児から5歳児までの保育のあり方（視点）は大賛成であるが、民間事業者による小規模保育事業の整備を図るのは、この点と矛盾しないか。0.1.2歳児の保育がどうしてもできないのか？この再編整備の何が保育士の働く環境の向上や保育士不足を改善させるのか具体的に知りたい。 民間事業者が運営すれば、保育士不足が解消する訳ではなく、穴埋めの移動が多く、行政の監視が無いと適切な保育の継続が困難と考えられる。 大切な子どもの命を預かる事業であり、安易に民間事業者の参入はすべきでない。また、年齢別に保育を実施するとなれば兄弟はどうなるか。	1	再編整備計画の大きな背景には、公立保育所の保育士不足の問題があります。特に、0.1.2歳の低年齢児ですと、保育のために配属する保育士が多数となり、現在の公立保育所の保育士数では保護者の保育ニーズは対応しきれません。 民間事業者であっても公立であっても、それぞれの保育の良さを生かしながら、町のすべての子どもたちが入園できる環境を整備することが望ましいと考えています。 保育士の働く環境については、園の再編成により分散配置している保育士・幼稚園教諭の集約化が図れることや、専門的なスキルを持った職員を配属できることから、全体的な組織の強化が可能になると考えています。また、兄弟につきましては、入所時の判定基準により、公平なルールの中で判定させていただくこととなります。
26	23	地元には再編や民間移行について、まったく説明されていない。地元の人には民間になることを反対されている人もいます。地元は町立だから協力したという経過もある。民間ならその協力の仕方も別であるという人もいます。もし、事故や事件が起こったとき、それはその会社の問題という姿勢を町が取られるなら、町は無責任極まる。町は責任回避できない。	1	現在も町には私立の保育園があり、多くの町の子どもたちが通園しています。町の大切な子どもたちが通う大切な施設であり、町の子どもたちのために皆が協力するという視点に立ってご対応いただけるようご理解をお願いします。 また、町には監督責任があるため、しっかりと連携を図ることとしています。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
27	23	子どもの育ちには大人数の環境が望ましいですが、近年、行きしぶりが低年齢化しているため、3歳児以上でも少人数保育を求める人がいることを理解してほしい。	1	3歳児以上で小規模な保育を希望される声も聴いております。その場合も、それぞれの規模のこども園の運営を計画しておりますので、今般の再編計画により保護者やお子様の希望にあった規模の園を選択いただけたと考えています。
28	23	現在、子どもを保育園に預けていますが、地域の人との交流はありません。幼稚園だと、交流をしているところがあります。保育園も、もっと地域に開かれてほしいです。	1	各園と地域との交流は大切なことだと考えておりますので、日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にも基本方針として挙げております。今後も地域に開かれた園運営ができるよう努めたいと考えています。
29	23	小規模保育事業所について、小規模保育園が必要ななら、民営化ではなく町立の保育園として設置していただきたい。0歳から2歳までの小さな年齢児を預かる現場を、未来会に選定された理由を教えてください。町立保育園でも保育士の確保が難しい中で、民間保育園の保育士確保は大丈夫ですか。0歳から5歳児まで、同じ環境「つながり」のある保育の推進とありますが、それならば0歳児～2歳児のみの小規模保育園は望ましいとは言えない。	1	小規模保育事業所は0歳から2歳児までを対象とし、少人数で家庭的な雰囲気運営し、園児一人一人に目が届きやすく、きめ細かな保育ができるメリットがあります。しかし、0歳児は園児3人に保育士1名、1・2歳児は園児6人に保育士1名と保育士の配置基準が厳しく、町立保育園として運営することは現状の保育士不足の中では困難な状況です。小規模保育事業所の選定につきましては、日野町家庭的保育事業等設置・運営事業者選定委員会を設置し、書類審査、プレゼンテーション等を踏まえ、実績や運営方針を評価して選定致しました。保育士の確保についても、募集要項の提案の中で法人により対応が可能であると判断させていただいたところです。なお「つながり」につきましては、同年齢における園児同士のつながりがある保育環境を目指すこととしております。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
30	23. 25	P23には、「0歳児から5歳児までは、同じ環境、適正な集団規模を確保し…途切れることなく安定した環境のもとで…」とありますが、0歳から2歳児だけの民間事業者による地域型保育事業施設の整備を図るとありますが、3歳から環境が変わる子どもができることを良しとするのか。公立のこども園やわらべ保育園で受けていくようにしてほしい。	1	地域型保育には、落ち着いた環境の中で少人数の低年齢児をきめ細かく保育ができる利点があります。また、3歳児からの環境の変化につきましては、そもそも環境の変化は、新年度のクラス編成に伴って全ての子どもが経験することであり、保育士は、子どもたちの環境の変化を前提として不安を軽減できるよう工夫をしながら、子どもがその不安を乗り越えられる力を身につけ、心理的な土台を形成できるように取り組んでいます。また、現状の保育士不足の中では、低年齢児の保育希望を全て受け入れることは難しいと考えています。
31	24	公民館をもっと活用してほしい。桜谷、鎌掛、南比公民館は空いている日が多いので、自由につかえる子どものスペースを作ってください。	1	地域との交流の場としても、公民館を積極的に活用させていただくことは大切なことだと考えています。ご意見については、生涯学習課公民館担当とも共有させていただきます。
32	25	幼児教育保育施設の再編整備計画について、桜谷こども園第2園舎について、「(第1・第2園舎の統合化)」とあり、わかりにくい。第1園舎は取り壊すのか。また、後段の説明では小規模な認定こども園とあるが、集約化をしている中の意義は何か。	1	「(第1・第2園舎の統合化)」の文言については、削除いたします。また、第1園舎は集約化の対象となりますので、解体する計画となっています。桜谷こども園については、地理的に東近江方面への通勤途上にあること、また、小規模な園での保育を希望される保護者もおられることから、小規模な認定こども園として運営する予定としています。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
33	25	西大路地区では新たに住宅団地が分譲され、就学中や就学前の子どもたちも多数おられる。西大路幼稚園を改修して、幼保連携型の認定こども園を整備することが、基本方針に沿った望ましい計画ではないか。	1	幼児教育保育施設の再編整備について、当町の教育・保育提供区域は、町内全域を設定していますので、現状の小中学校区にとらわれず、全町的な視点に立って策定しております。また、西大路幼稚園を改修して認定こども園として整備することにつきましては、現状の保育士不足の中では難しいと考えています。
34	25	桜谷こども園やこぼと園の面積と新設こども園の面積(2,800㎡)から考えて、250人以上の定員となると予想するが、それが「適正な集団規模」なのか疑問である。理由は、小規模すぎるのも良くないが、大規模でも多くの問題が噴出して小中学校の例から見ても大変なことがある。 基本方針①に「子ども同士で刺激しあい」とあるが、多くの刺激に耐えられない子どもがあるのではないかと、また不登園の子どもが増えないか心配である。	1	新設こども園の規模につきましては、県内各市町の公立認定こども園の規模や運営状況を参考にした計画数値としております。また、町の教育・保育提供区域については町全体が対象となっていますので、既存の小中学校区概念はありません。公立認定こども園につきましても、様々な規模の園を想定していますので、お子さまにあった園が選択できると考えています。 また、幼児教育保育につきましては、国の基準によりクラスごとに保育士等の配置人数が定まっていること、町では支援が必要な園児についても加配保育士等を配置し、できるだけきめ細かな支援ができるよう対応しているところです。
35	25	南比都佐幼稚園を民間運営の小規模保育施設に移行することは反対です。南比都佐幼稚園がなくなると、南比都佐地区から必佐幼稚園の預かりを希望される保護者も遠くなります。こども園を3園にするならばもう少しバランスを考えてほしいです。できるだけ自宅や勤務先に近いところに通わせたいという保護者の思いを無視しないで歩み寄ってほしいです。	1	南比都佐幼稚園につきましては、園児数の減少により集団保育の観点から保育内容に限界があるのが現状です。また、保育園の入所ニーズの増加から幼稚園として存続することは難しいと考えています。 また、保護者の保育ニーズを満たしつつ、できるだけ自宅に近い園に通わせたいという思いもあることから、南比都佐地区での小規模保育事業所を計画しています。
36	26	西大路幼稚園の再編整備について、将来的にどのような需要等の予測のもとで必然性があるのかを明確にしてほしい。上記と同様に、他の施設の再編整備についても需要等の予測があり、どのような役割があるのかわかるようにしてほしい。新設、既存施設改修活用のいずれにおいても、少子化・人口減少の中で多額の財源を要していくので、慎重に見通しを立てて対処する必要があると思う。	1	本計画については、急速に高まる保育ニーズに対し、町全体の視点から策定をしております。また、幼児教育保育施設は町全体が区域対象となることから、各園での需要量を取り出した予測はしておりません。 施設整備においては多額の財源を必要とします。この点につきましては、町の大きな課題として受け止めており、全庁的な財源確保に取り組む必要があると考えています。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
37	28	<p>あおぞら園鎌掛分園の再編整備について、令和7年度から再編整備を実施するために、民間事業者選定や入園児募集をすでに終えてから住民意見を聞くやり方は、「再編整備ありき」「民間事業者ありき」であり、「行政運営の公正透明性を図る」というパブコメの主旨から大きく逸脱する。</p> <p>また、他地区においては実施時期が何年後かであるのに、鎌掛のみが目前に実施が決められているものであり、鎌掛地区を軽視的に扱っていると思えず、非民主的なやり方である。そういった手法を許している堀江町政そのものが問われている。</p>	1	<p>日野町での保育環境の充実について、特に待機児童の解消は、まさに「待ったなし」の課題であり、早急な対応が求められております。このため、小規模保育事業の開設には既存の公立施設の活用も視野に入れながら募集をさせていただき、結果としてあおぞら園鎌掛分園の活用に至ったものです。なお、既存施設の活用により建物の改修等が省略でき、休園等を経ずに連続した園移行が可能となると考えております。</p> <p>また、日野町幼児教育保育施設再編整備計画は町全体の視点に立って策定しておりますので、特定の地域を軽視している訳ではありません。</p>
38	28, 29	<p>0～2歳児を鎌掛で、3～5歳児を南比都佐で受け入れる町立あるいは民間保育園にする。そうして二園に入園したこどもと親のスムーズな園移行を図るのはどうか。その理由は、①0歳～3歳児の保育の終了後、大きな環境の変化が起こる。これば「中1ギャップ」のように子どもにとって負担が大きく、2園を1園にすれば負担が少なくなる。②過去に、地域の子どもを保育園に預けようとしたら、園の所在する地元の児童が優先されたケースがある。3歳からの行き先に迷うことがなくなる。③6年間小規模な保育を望む親子の受け皿となる。</p>	1	<p>保育の中では、0歳から2歳までは、じっくりと一人遊びをすることや愛着形成の時期となります。一方、集団への意識は3歳頃から芽生えて来ます。入園・進級やクラス替えは全ての園児に不安が伴うものであり、同じ園で進級する園児であっても環境の変化により不安や戸惑いは生じています。</p> <p>保育者は、その環境の変化に対して、子どもの不安を軽減できるよう工夫をし、子どもがその不安を乗り越えられる力を身につけ、心理的な土台を形成できるような保育を心がけています。</p> <p>また、保育園の入所判定において居住地を理由として優先順位を決めることはありません。もし、小規模な保育を望まれる場合は、当計画においてさまざまな規模の公立認定こども園の設置を想定していますので、お子さまにあった園の選択が可能となると考えております。</p>
39	32	<p>幼児教育・保育施設の再編整備について、7/10に開催した行政懇談会で町長をはじめ町の幹部職員出席のもとで計画案の説明があり、「今後の進捗状況を踏まえて改めて説明の機会を設ける」との理解であったが、今回の計画案では、これまで言及されなかった西大路幼稚園の廃止、転用が唐突に明記されている。また、パブリックコメントの実施も知らされておらず、期間も短く自治会で議論する時間が保証されていない。</p>	4	<p>幼児教育保育施設の再編整備は、町内の全ての地区の行政懇談会で同内容の説明をさせていただいており、その上で今般、施設の再編整備をお示しさせていただきました。</p> <p>また、現状、当町では引き続き待機児童が発生しており、今後の幼児教育保育施設の在り方についても、町の喫緊の課題としてできるだけ早期に方向性を示すよう各方面からご意見を頂戴しているところです。ただし、幼児教育保育施設の在り方については、住民の意見募集の機会を設けることが適切であることから、今般、パブリックコメントを実施させていただきました。なお、実施期間につきましては、パブリックコメントを再度実施することで、十分な期間を確保させていただきました。</p>

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
40	32	「事前に保護者・地区説明会を実施し」とありますが、事前というのは計画を実行に移す前ということでしょうか。計画に対しても事前の説明会はないのでしょうか。反対される方があれば、進めないと受け止められます。ぜひ、行政の一方的な説明会ではなく、計画も必要に応じて修正・検討を重ねるなど地域の理解が得られるよう期待しています。	1	今回の幼児教育保育施設の再編整備では、様々なご意見があることは承知しております。地域のご理解をいただくためにも地域から要請があれば随時説明に伺わせていただきたいと思いますと考えております。また、反対意見につきましても、貴重なご意見として受け止めさせていただきます。
41	23, 24, 33	3～5月ころには日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会の提言を重視した計画のように思えたが、町の考えを求めたら今度は日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会がどこかへ飛んだ感じである。 「子ども子育て支援事業計画」等の上位計画、在り方懇話会、現場や住民の意見が十分練り上げられた「再編整備計画」といえるだけの整合性が欲しい。	1	日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会での提言は、2年間に渡って様々な議論を重ねた、貴重な意見として考えております。日野町幼児教育保育施設再編整備計画は、その提言を基本として町の判断にて策定させていただいたものです。 「子ども子育て支援事業計画」と「日野町幼児教育保育施設再編整備計画」は、それぞれ別の計画となりますが、整合性が図れた計画となるように策定を進めてまいります。
42	23、24	幼児教育保育施設の再編整備に向けた基本方針に、「③地域の中で子どもたちが健やかに育つよう、豊かな自然環境の中で、地域の方々と子どもたちが一緒に触れ合える保育環境をつくるよう努める。」と示しているが、計画案では現在の施設を統廃合して、大規模な認定こども園を整備し、小規模な保育施設を整備しているが、これでは小学校児童も含めた地域とのつながりを分断、希薄にするものではないか。	1	現状、保育ニーズの高まりにより、居住する小学校区以外の保育園や認定こども園に通園する園児が増加しておりますが、卒園すれば同じ学区の小学校で学校生活を送られており、幼児教育保育施設の再編整備が地域とのつながりを分断するとは考えておりません。 園と地域とのつながりは大切なものです。各園の園運営の中でも、地域とのつながりを重視した活動ができるよう努めていきたいと考えています。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
43	3~8	<p>各種の実績、現状の数値について、第2期日野町子ども子育て支援事業計画に示された数値とどのように差異が生じているのかわからない。第2期子ども子育て支援事業計画において、毎年度事業計画に基づく事業の実施状況等について、点検・評価します」とあることから、これらの実測値により本計画が組み立てられるべきである。</p> <p>また、施設整備には多大な財政負担を要するため、現時点の待機児童だけにとらわれず、現有施設の有効な運用を追求しつつ、少子化の中での需要見込みを明らかにし、対処してほしい。</p>	1	<p>日野町幼児教育保育施設再編整備計画（案）については、第2期日野町子ども子育て支援事業計画を策定した時点の数値ではなく、できるだけ直近の数値を採用し現状に即した計画としています。</p> <p>施設整備には多額の財政負担が伴いますが、当町では待機児童が発生しており、昨今の保育ニーズの高まりに対して現在の公立保育園には保育室の余裕が無く、幼稚園は就園児の対象年齢が異なることから保育園へ転用が困難であり現有施設の活用には様々な課題がございます。</p> <p>このことから、今般、施設の再編整備計画をお示しさせていただいたところです。</p>
44	記載無	<p>子どもが保育園に入園できない理由として、保育士不足があると聞いた。最近では保育士の成り手不足もあると思う。保育士不足が深刻な中で、日野町で保育士として働きたい、働き続けたいと思えるような対策を保育士の方々はもちろん保護者にも協力いただき検討してはどうか。</p>	1	<p>保育士不足の解消を図るため、日野町で働き続けたいと思えるように、保育士が働きやすい職場環境を整えることは必要不可欠であると考えています。</p> <p>町でも、様々な対策を実施しておりますが、今後、施設の再編整備を行う中で引き続き働きやすい職場環境づくりに取り組み職員体制の充実等を図っていきたいと考えています。</p>
45	記載無	<p>町の未来を担っていく子どもたちの身体づくりについて、食の安全の観点から、「有機食材を取り入れた給食」の提供を検討してはどうか。</p>	1	<p>子どもたちの身体づくりのために必要な栄養摂取はもちろんのこと、日野町産のお米や様々な野菜などの食材を活用した給食の提供についても検討させていただきます。</p> <p>また、有機食材を用いた給食提供については、今後の参考とさせていただきます。</p>
46	記載無	<p>当該施設整備再編計画（案）に先立ち「幼児教育保育の在り方検討懇話会」が設置され、1年半以上もかけて委員から答申が出されました。その中で7つの公民館等を中心に地域との連携の重要性を強調されていましたが、この施設再編整備計画（案）に十分反映されているか疑問です。</p>	1	<p>公民館を中心とした地域とも連携は大切なことだと考えていますので、再編後の幼児教育保育施設につきましても、地域との提携が保てるような構想としています。</p>

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
47	記載無	幼稚園を統廃合し、一つの認定こども園を新設するとのことですが、関係する地域住民への理解を得ることが十分になされていますか。これまでの説明会の開催や意見を教えてほしい。4つの幼稚園がひとつの認定こども園として新設されることが適正な規模とは思えません。規模が大きすぎ、きめ細かな支援ができるのでしょうか。	1	幼稚園からこども園への再編については、これまで日野町幼児教育保育施設の在り方懇話会にて、2年間にわたり、各地域で重ねた議論が基本となっております。懇話会には、保護者、在宅子育て層、公民館、保育者、発達に支援の必要なお子さんをお持ちの保護者、若者向け、子育て層などにご参加いただき、幅広い立場の方からの意見において、こども園の新設が提案されております。こども園につきましては、園全体が大規模であったとしてもクラスごとに国の基準により保育士等の配置人数が定まっていることや、必要に応じて加配保育士等を配置し、できるだけきめ細かな支援ができるよう対応する予定です。
48	記載無	日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会の施設整備の考え方を肯定するものではないが、本計画は、在り方懇の提言を基本としているが、大きく変わっているのはなぜか。	1	日野町幼児教育保育施設再編整備計画につきましては、日野町幼児教育・保育の在り方検討懇話会の意見を基本としつつも、町にて策定しております。
49	記載無	兄弟姉妹が同園の入所を含め「同じ環境」が望ましい形態とするならば、0歳から2歳の小規模保育所は望ましくないのではないかと。	1	小規模保育事業は、他者との愛着形成の時期である0歳～2歳の園児が入園の対象となります。その時期に、比較的少人数でのクラスできめ細かな保育を提供できるメリットがあります。また、様々な形態の園を整備することにより、多様な保育ニーズに答えることが可能となると考えております。
50	記載無	行政手続法41条により、意見公募の手続きについて、周知するよう努めるとともに、情報提供に努めるものとする」とされており、広く町民から意見を聞くのであれば、HPだけでなく「広報ひの」や組回覧でパブリックコメントを行うことや、現在実施していることを町民に知らせなければならないと思う。また、行政手続法39条第3項で「意見提出期間は、命令等の案の工事から起算して30日以上でなければならない」とされているが、今回の提出期間は15日間でした、それでいいのでしょうか。また、他市町では、公民館に計画があるかと行きましたがありませんでした。幅広い町民への思いやりが必要だと思います。	1	行政手続法における意見公募手続きにつきましては、基本的に国の命令等の案を定める際の法律ですので、その意義は十分理解しつつも、実施にあたってはこれまでの町のパブリックコメントと同様の方法により実施させていただきました。また、提出期間はパブリックコメントの再実施により十分な期間を確保させていただきました。公民館での資料掲示につきましては、パブリックコメントを再実施する際に実施させていただきました。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
51	記載無	「幼稚園がなくなるかどうかは、地域の大きな問題だからしっかり情報を地域におろして欲しい」と言いました。役場の方は「今、検討中なので決まれば地域の方にも情報をお知らせします」と言われました。 このパブリックコメントが終了してから教えていただいても、地域の意見が入らないのではないのでしょうか。幼稚園がすべてなくなる事態ですので、各地区の区長会には報告すべきではないですか。	1	日野町幼児教育保育施設再編整備計画（案）についても、今後、計画の前提が大きく変化すれば、内容の変更はあり得ると考えています。 また、本計画の前に、幼児教育保育の在り方検討懇話会において、2年間に渡り話し合いを続ける中で、各地域からも幼稚園でなくこども園として、時代にあわせた運営の変化を求める意見を多数頂戴しているところです。 各地区への説明につきましても、要請に応じて実施させていただきたいと考えています。
52	記載無	先生方の勤務体制も、園をまとめることで組みやすくなるのであれば賛成です。今が朝早く夜遅い長時間保育利用で、保育園がないと仕事ができないので、子どもたちの環境だけでなく、子どもたちを見守ってくださる先生方のために環境整備も必要だと思います。あと、新しいこども園の場所がどこになるかで偏りが心配です。	1	現在、現役の子育て世代からは「保育園がないと仕事ができない」というご意見を多数承っています。また、現場の先生方からも、今回の幼児教育保育施設の再編整備に期待する声がございます。 新しいこども園の場所については、今後、候補地選定を進めてまいります。
53	記載無	幼稚園に通園していますが、学年の人数が少人数であることを心配しています。家から近く環境も良いのですが、子どもの数が少なすぎて大人数の園の子との遊びの経験や人との関わりの差がどれくらいあるか気になります。 各園の集団規模の確保、保育士不足解消、待機児童解消になるのであるならば、この計画書どおりに園を統合することに意味があると思うし、賛成します。 地域には園を残したい声が多くあります。しかし、こういう意見を持った保護者がいることも知ってもらえればと思います。	2	園児にとって、人生の土台となる幼児期（特に3～5歳）に多くの園児と関わり、集団の中での達成感、うれしい気持ちや楽しい気持ち、悔しさや我慢することを体験することは、非常に大切なことだと考えています。一方、小規模園にもそれぞれの良さがあるものの、あまりに少人数ですと集団での経験や体験に限りがあることも事実です。また、地域の子どものほとんどが幼稚園に通園された世代と、多くが保育園の入園を希望される世代とは、幼児教育保育への考え方にも大きな違いがあり、町でも様々な意見を頂く中で、非常に苦心をしつつ今回の「日野町幼児教育保育施設再編整備計画（案）」を策定したところです。 地域の中でも多様なご意見があるかと考えますが、それぞれの世代が互いを尊重し、子どもたちにとってより良い幼児教育保育の実現に繋げていければと考えています。
54	記載無	保護者の立場からすると、こどもにとっての環境や育ちなど、少人数の時と一定の集団のときと、園での子どもの姿をずっと見ている訳でもなく、他園の子ともと比べることもないので、どのような違いがあるかわからないことの方が多いです。 実際の幼児教育をされている先生方や専門家から見てどうなのかということ、保護者が知る機会が必要だと思います。 住民ファーストで保護者の意見だけを聞くのではなく、有識者からの意見も聞きたいです。 各園が閉鎖される訳でもなく、町全体でこどもの居場所として残り続けることができる計画になっていることは嬉しいです。	2	少人数の際と一定の集団の際での子どもたちの様子の違いなどを保育現場の先生や専門家からの視点で見た場合の意見を保護者が知る機会については、今後の保育活動等の中でのご参考とさせていただきます。 日野町幼児教育保育施設再編整備計画（案）につきましては、実際の保育現場の先生の意見や専門家の意見も十分にふまえて策定しております。また、計画は町全体の視点に立って策定しておりますので、ご理解をお願いいたします。

日野町幼児教育保育施設再編整備計画(案)にかかる住民意見募集(パブリックコメント)の実施結果

No.	頁番号	意見の内容	件数	町の考え方
55	記載無	この計画のメリット、デメリットは。またデメリットの対応は。	1	本計画において、まず各園の集団規模の確保、保育士不足解消、待機児童解消につながると考えております。また、再編整備に伴う様々な課題については、その時々で対応をしてまいります。